

第 15 回産業容器国際会議に参加

ドラム缶工業会は、更生ドラム缶の国際会議である第 15 回産業容器国際会議に参加し、小野理事長がアジア・オセアニア鋼製ドラム製造業者協会(AOSD)の会長として招かれゲスト・スピーチを行いました。

本国際会議は、2015 年 6 月 4 日～5 日の二日間にわたりカナダ バンクーバー市ハイヤットトリージェンシー ホテルで開催されました。会議には米国、カナダ、EU 各国、日本、中国、韓国、インド、南アフリカなど多数の国から約 200 名が参加し、6 つのセッションにおいて各団体・各社がプレゼンテーションを行い活発な質疑応答が行われました。

小野理事長は「製造業者からの展望」と題するセッションにおいて「拡大するアジア・オセアニアの鋼製ドラムの概要」をテーマに、AOSD の歴史、組織、加盟団体、AOSD 全体の鋼製ドラムの生産量および国別生産量等について報告し、次に AOSD 国際会議の概要の紹介をしました。

さらに AOSD の継続的な発展のために必要な課題について次の 4 点を強調しました。

- 1) 「鋼製ドラムの製造技術向上への取り組み」と「物流技術の改善」。鋼製ドラムの品質や生産効率の向上、および物流の効率化を図るために AOSD 国際会議を通じ技術交流を促進する。
- 2) 製品規格や性能保証に関する国際規格や基準の調和。需要家製品のグローバルな物流における安全・安心の確保と効率向上にとって重要であり、製品規格や性能保証に関する国際規格や基準類の整備について情報の共有を図る。
- 3) 労働安全性の向上。鋼製ドラムの製造に携わるすべての従業員が、安全で健やかに仕事に従事することができるよう、労働災害の撲滅に向けた活動を展開する。
- 4) 鋼製ドラムはリユース、リサイクル性に優れた環境に優しい容器であることを、需要家に正確に理解していただくために、各種活動の支援等を行う。

最後に 次回第 9 回 AOSD 国際会議が、2016 年 12 月にインドのムンバイで、開催されることを紹介して、スピーチを終えました。



プレゼンテーション中の小野理事長



会議に参加したドラム缶工業会メンバー

(左から本田事務局長、縄田技術委員長、小野理事長、久保企画統計委員長)